



Robot Taxi

**ロボットタクシー
株式会社**

ロボットタクシーは、日本が抱える諸問題の 解決策として無人運転交通サービスの実現を目指す

タクシー・バス事業者の
運転手の不足と高齢化

過疎地における
移動困難者の増加

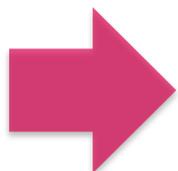
国家目標である交通事故
死者低減の実現

都会にすら存在する買物
弱者の増加

訪問・通所が必要な
要介護者の増加



- 「ドライバーレス」「安価で安全」を実現できるロボットタクシーは、理想的な解決策になりうる。



ロボットタクシー車両の現在構成

GPS

ステレオカメラ

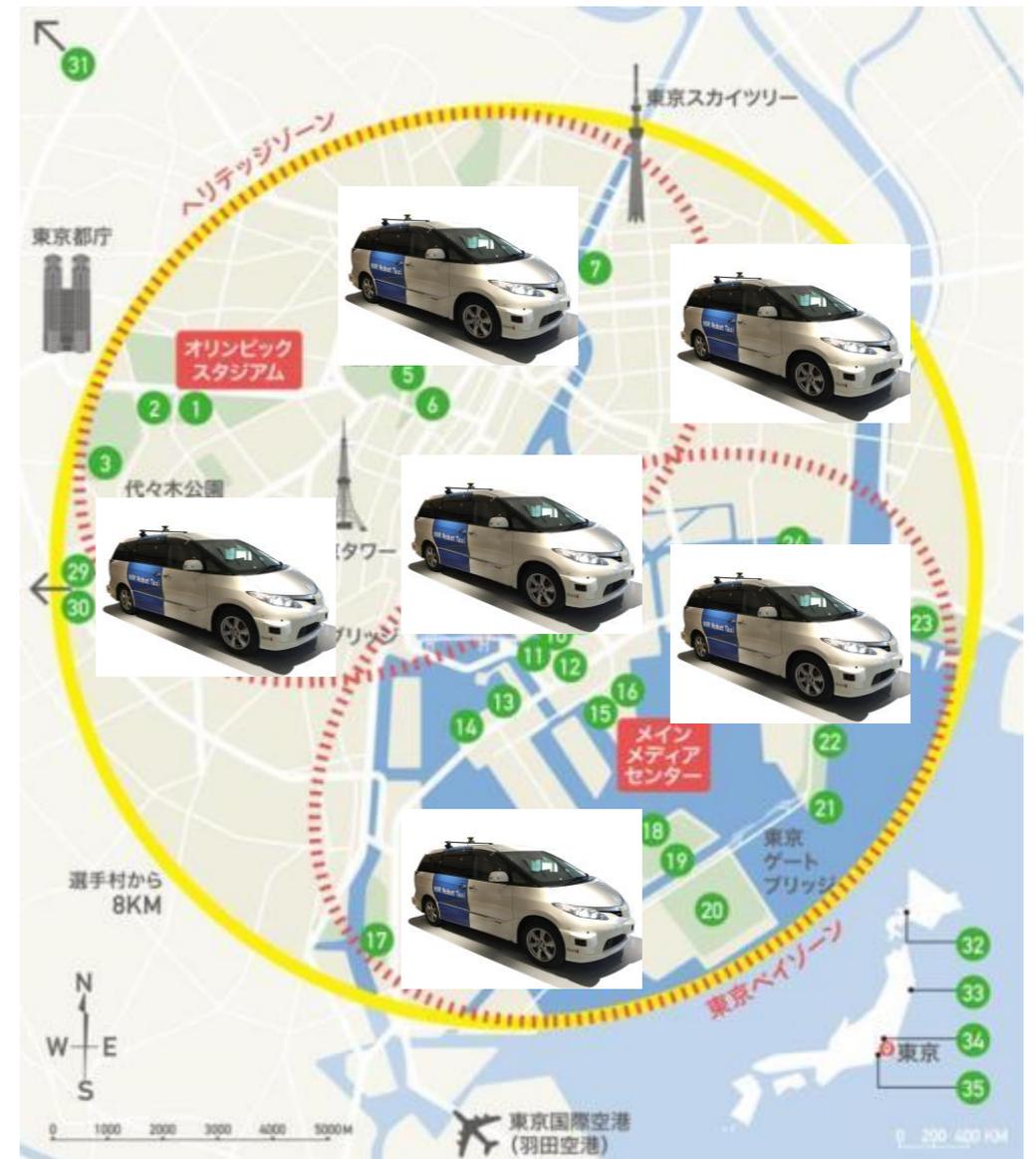


レーザーセンサー

ミリ波レーダー

2020年に無人運転交通サービスを実現したい

- ◆ 地域の移動困難者の方々の状況は切実であり、一刻も早く、無人運転交通サービスを実現する必要がある。
- ◆ 2020年には限られた地域であってもいいので、サービスの実現を目指したい。
- ◆ また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、世界中から訪れる方々に対して、日本の技術を見せたい。



11月5日 官民対話 安倍総理ご発言

(安倍内閣総理大臣)

生産性革命の鍵を握る投資によって、世界に先駆けた第4次産業革命を実現する。第4次産業革命はスピードが勝負だと考える。自動走行、ドローン、健康医療は、安全性と利便性を両立できる有望分野であり、早速、この場で具体的な方針を決定する。

第1に、2020年オリンピック・パラリンピックでの無人自動走行による移動サービスや、高速道路での自動運転が可能となるようにする。このため、2017年までに必要な実証を可能とすることを含め、制度やインフラを整備する。

《実証プロジェクト1》 神奈川県藤沢市での有人自動運転実証実験概要

日時：2月29日（月）～3月11日（金）

場所：神奈川県藤沢市
湘南ライフタウン中央けやき通り

概要：

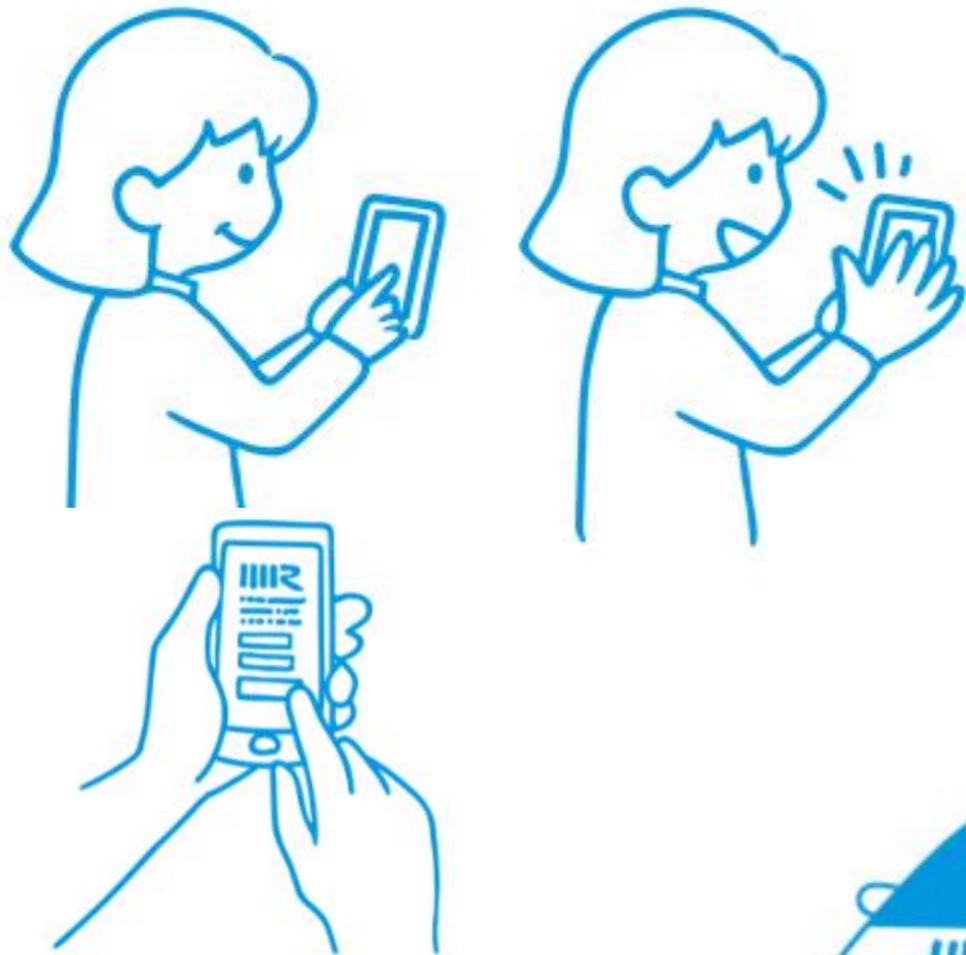
- ◆モニターが、パソコンまたはスマートフォンで、配車予約します。
- ◆自動運転自動車が、モニターを、住居とイオン藤沢店間で送迎します。
- ◆自動運転走行は、中央けやき通りのみです。それ以外の道は、ドライバーが手動運転で走行します。
- ◆安全のため、必ずドライバー・オペレーターが運転席・助手席に乗車します。



実証実験 3つのSTEP

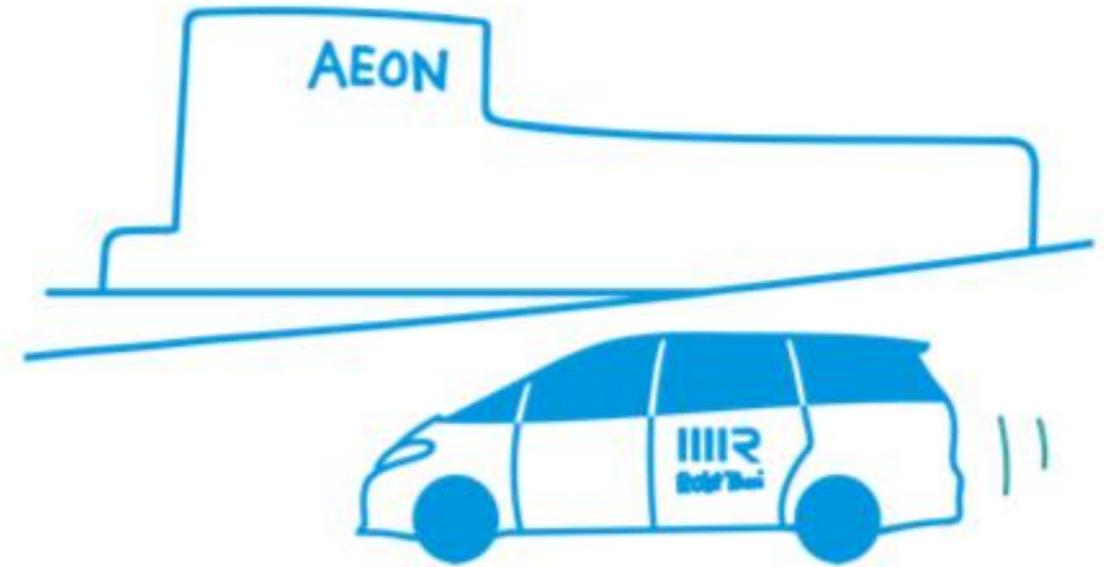
Step 1

サイトにログインして「配車予約」

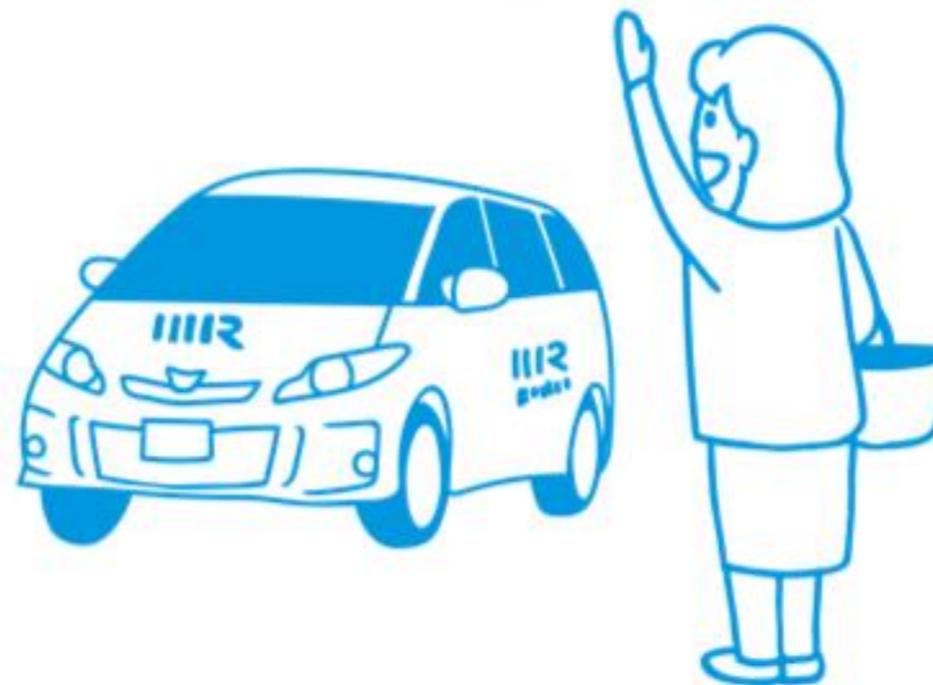


Step 3

目的地に到着



Step 2
送迎

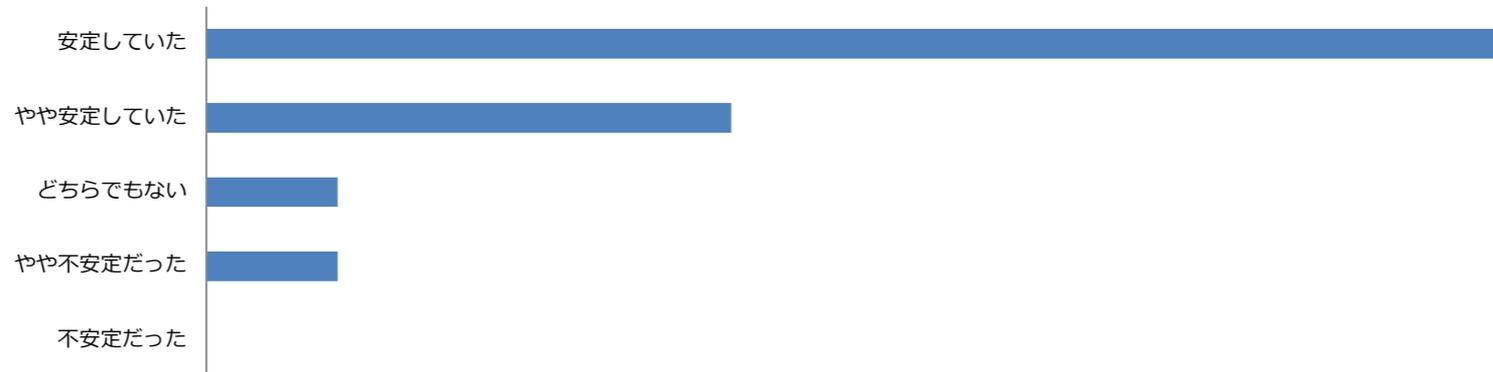


モニター評価の概要

自動運転走行後のモニター評価

①自動運転中の走行について

9割近くが「安定していた」「やや安定していた」と回答



②自動運転中の安全対策について

9割以上が「良かった」「やや良かった」と回答



③実証実験にモニターとして参加してみて全員が「良かった」「やや良かった」と回答

④今後の自動運転に期待するかについて全員が「期待する」「やや期待する」と回答

ポジティブな実験の評価と自動運転への高い期待
アットホームな雰囲気 of 湘南ライフタウン

モニターの声：走行体験の感想

言われるまで、ハンドルはなしてらって気付かなかった

(20歳 女性)

主人の運転より安心

(66歳 女性)

よかった もっと蛇行するのかなと思っていた

(71歳 男性)

時々、車間距離が開きすぎかなあ、と思うことがあった

(22歳 女性)

発車のタイミングや止まるタイミングが自分が運転しているときと違う

(50歳 男性)

モニターの声：サービスへの期待

高齢者が歩くということのネックをカバーしてほしい

(70代 男性)

**何人かお友達とかと利用できておしゃべりとか買物とか食事とか一緒にできて
また帰ってこられるみたいな使い方ができたらいいなあと思います**

(74歳 女性)

事故防止に期待

いくら自分が注意してても、もらい事故ってあるから

(38歳 女性)

見ず知らずの土地にいたりしたい

(14歳 男性)

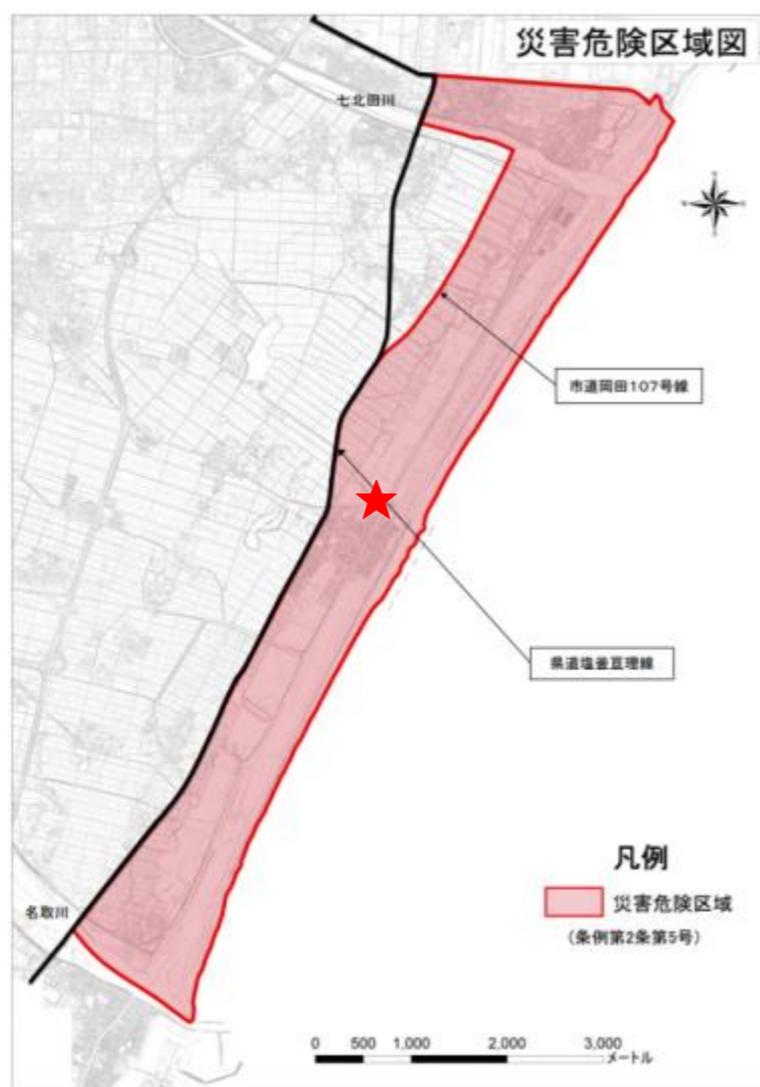
運転できないんで、もっと気軽に乗れるようになってきてほしい

(39歳 女性)

《実証プロジェクト2》

宮城県仙台市における実証デモ概要

- 日程：2016年3月27日（日）
- 場所：災害危険区域 旧荒浜小学校 等
- 概要：無人運転（レベル4）の実施 等
- 参加者：内閣府、仙台市、東北大学、ロボットタクシー 他



(ご参考)

日本再興戦略改訂2015 改革2020プロジェクト 「先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会の実現」

「日本再興戦略」改訂2015(平成27年6月30日閣議決定)

<改革2020プロジェクト概要>

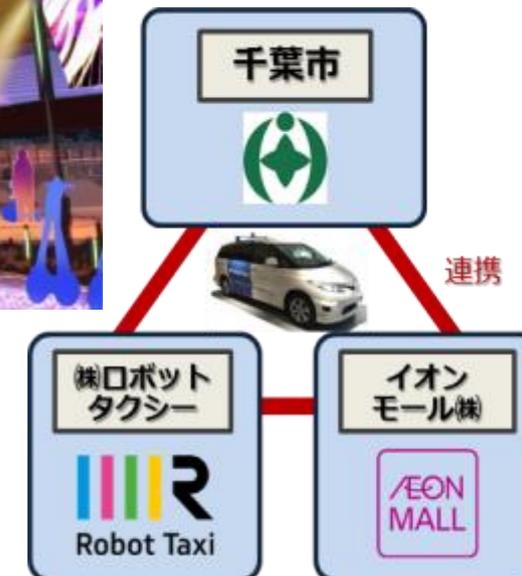
- ◇ 東京大会等の外国人が訪日する2020年をモメンタムとして、革命・イノベーションを加速。2020年までに我が国として成し遂げるべき中核となるプロジェクトで、後世代まで継承できる財産(レガシー)となるものを政府を挙げて推進。
- ◇ 我が国の強みを社会実装・ショーケース化して海外にアピールでき、その後の経済成長につながるものとして、6つのプロジェクト(①次世代都市交通システム・自動走行技術の活用②分散型エネルギー資源の活用によるエネルギー・環境問題の解決③先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会の実現④高品質な日本式医療サービス・技術の国際展開(医療のインバウンド)⑤観光立国のショーケース化⑥対日直接投資拡大に向けた誘致方策)を展開。

<ユニバーサル未来社会の実現>

あらゆる生活空間でロボットが活躍し、高齢者や障害者、外国人も含めた多様な者が、ストレスフリーな生活の実現に必要な幅広いサービスを楽しむシーンを作り上げ、ショーケース化する。



※公道及び関係施設については、東京都等をはじめ今後調整





ロボットタクシーを
みんなの足に

YOUR PERSONAL DRIVER